

9月28日表記の会議が開かれました。会議では、国内外の情勢からみても、国賠同盟の活動を前進させる重要性を確認しました。

7月の県大会後の主な活動では、①「映画『わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯』」が、秋田、大館、能代で上映され約600人が視聴し、学習会が5回ひらかれて約80人が参加し、会員2名が増えたこと、②8・

9月28日表記の会議が開かれました。会議では、国内外の情勢からみても、国賠同盟の活動を前進させる重要性を確認しました。

15街頭宣伝が7支部35人の参加で行われたこと、③支

部総会が大館鹿角支部、鷹巣阿仁支部で開かれたこと（能代山本、秋田、湯沢雄勝の支部が計画）、会費の納入は、大館鹿角、鷹巣阿仁、大曲仙北、湯沢雄勝の支部からあつたが、他は未納であること、④署名の取り組みはアンバランスがあるが、国会請願後ゼロの支部がある事、⑤会員拡大は、県大会後いづれの支部もゼ

## 10月から活動の前進にガンバロー!!

「支部会長・同事務局長・県事務局員合同会議」開く



【秋田県版】

No. 376

2022年10月15日

治安維持法犠牲者  
国家賠償要求同盟

発行人：田中幹夫

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4

秋田県本部

〒014-1413  
秋田県大仙市角間川町  
字東中上町27

最上健造 方

TEL&FAX  
0187-65-2115

### 同盟運動の目的

- 1、国は、治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 2、国は、治安維持法犠牲者に謝罪し、賠償を行うこと
- 3、国は、治安維持法による犠牲者の実態を調査し、その内容を公表すること

◇ 県本部から、この10月から「そろそろガンバロー」などが発言されました。とりわけ・支

◇ 討論では、・映画「千代子」の取り組みと感想、・安倍「国葬」、・統一協会・勝共連合・支部版「不届」発行、・会費集めの経験、などが発言されました。

◇ 会員のみなさん、支部役員のみなさん ◇

員の活動は「コロナ」や「会員の高齢化・病気」などにより、正直「停滞」しています。知恵と力を發揮しながら、「ガンバロー」ではありません。

部総会の開催、・会費納入促進、・署名と会員拡大に対する指導部率先、・困難や問題の打開に真剣にとりくむこと、等が提起されました。



# 安倍「国葬」の菅義偉弔辞と 山県有朋

り、古本でも高額の値がついている。アマゾンでも「売り切れ」だという。岩波は重版発行する。

## ■松本清張の山県有朋評—『象徴の設計』より

「山県有朋」に関する書物

9月27日法的根拠もなく國民多数の反対のなか、岸田内閣は、安倍晋三元首相の「國葬」を强行した。

岸田文雄首相や衆参議長などが弔辞をのべ、友人代表として菅義偉前首相が弔辞を述べた。その菅弔辭を一部マスコミや識者が讀んでいる。岸田の無機質な安倍礼賛より、心に沁みる弔辞だったというのだ。安倍と菅の政治交流は長い「悪政」の二人三脚だったことを忘れてはならない。

菅の弔辞は、山県有朋が、

暗殺された伊藤博文を悼み詠んだ歌を紹介した。伊藤も安倍も「銃殺」されたことへの

思いが重なったのだろうか。

は多くあるが、「秋田さきがけ」の記事「岡義武著『山県有朋』」から見ていい。

▼は「文献からの引用」。人名は敬称略とした。

## 最上 健造

山口県（長州）出身の軍人であり政治家であり、明治を「牛耳った」権力者であつた。問題は、安倍晋三がなぜ「山県有朋」を「勉強」していたかである。文献や資料の一部ではあるが、山県有朋の歴史的評価を切り取つて、安倍の

▼「（岡は）伊藤が1909年に射殺された後、山県はさらに権勢を振るつたと指摘。『天皇制の上に自己の巨大な勢力を構築』し、『民衆は、彼にとつては、支配の單なる客体にすぎ』なかつたと評した」

▼「有朋は（兵士の反乱）で、古本でも高額の値がついている。アマゾンでも「売り切れ」だという。岩波は重版発行する。

「山県有朋」に関する書物は多くのが、「秋田さきがけ」の記事「岡義武著『山県有朋』」から見ていい。

▼は「文献からの引用」。人名は敬称略とした。

「有朋は、軍備拡張のために絶えず増税を主張してきた。しかし（中略）旧幕時代、各地で起こつた百姓騒動を見るがよい。その悉くが貢租の増徴にあつたではないか。しかし天皇の尊嚴をただ精神的にのみ伝達するだけでは、人民を徹底的に感化することはできない」（そこで天皇を神格化するが一筆者）「天皇が神格化されれば、これを冒涜する者に対しても刑罰がなければならぬ。不敬罪はこうして必要になつてくる」（露骨な罰則だけでなく一筆者）

（こうして軍人勅諭と教育勅語が作られた一筆者）

菅の弔辭は、山県有朋が、教授の政治学者で1990年岡義武著『山県有朋』（岩波文庫）だ。岡義武は東大名誉88歳で亡くなっている。この本は菅弔辭後大「評判」とな

り、古本でも高額の値がついている。アマゾンでも「売り切れ」だという。岩波は重版発行する。

「山県有朋」に関する書物は多くのが、「秋田さきがけ」の記事「岡義武著『山県有朋』」から見ていい。

▼は「文献からの引用」。人名は敬称略とした。

「有朋は（兵士の反乱）で、古本でも高額の値がついている。アマゾンでも「売り切れ」だという。岩波は重版発行する。

「山県有朋」に関する書物は多くのが、「秋田さきがけ」の記事「岡義武著『山県有朋』」から見ていい。

▼は「文献からの引用」。人名は敬称略とした。

「有朋は、軍備拡張のために絶えず増税を主張してきた。しかし（中略）旧幕時代、各地で起こつた百姓騒動を見るがよい。その悉くが貢租の増徴にあつたではないか。しかし天皇の尊嚴をただ精神的にのみ伝達するだけでは、人民を徹底的に感化することはできない」（そこで天皇を神格化するが一筆者）「天皇が神格化されれば、これを冒涜する者に対しても刑罰がなければならぬ。不敬罪はこうして必要になつてくる」（露骨な罰則だけでなく一筆者）

（こうして軍人勅諭と教育勅語が作られた一筆者）

り、古本でも高額の値がついている。アマゾンでも「売り切れ」だという。岩波は重版発行する。

「山県有朋」に関する書物は多くのが、「秋田さきがけ」の記事「岡義武著『山県有朋』」から見ていい。

▼は「文献からの引用」。人名は敬称略とした。

「有朋は（兵士の反乱）で、古本でも高額の値がついている。アマゾンでも「売り切れ」だという。岩波は重版発行する。

「山県有朋」に関する書物は多くのが、「秋田さきがけ」の記事「岡義武著『山県有朋』」から見ていい。

▼は「文献からの引用」。人名は敬称略とした。

「有朋は、軍備拡張のために絶えず増税を主張してきた。しかし（中略）旧幕時代、各地で起こつた百姓騒動を見るがよい。その悉くが貢租の増徴にあつたではないか。しかし天皇の尊嚴をただ精神的にのみ伝達するだけでは、人民を徹底的に感化することはできない」（そこで天皇を神格化するが一筆者）「天皇が神格化されれば、これを冒涜する者に対しても刑罰がなければならぬ。不敬罪はこうして必要になつてくる」（露骨な罰則だけでなく一筆者）

（こうして軍人勅諭と教育勅語が作られた一筆者）

筆者）それを防遏（ぼうあつ）する手段として自由民権運動の撲滅を志してきた。防備よりも敵を潰滅させることである。そのため手段を採らなかつたのは当然だと思つてゐる。非難されることはない」「軍隊社会を防護することは、その首長である天皇を擁護することである」

▼「有朋は（略）国会が開設された場合、代議士が過激な議決を行つて、政府の政策を左右するのを惧（おそ）れた。彼は（略）国会といえどもこれを自由にすることはできないようにしようとした」「地方議会を大地主的な層で固め、民権運動にいささかも感わされない地方支配階級をとした。（略）こうして彼は国会が将来権力を脅すような挙に出ても地方政治だけはこれから全く切り離す戦略に構築していたのであつた」

筆者）それを防遏（ぼうあつ）する手段として自由民権運動の撲滅を志してきた。防備よりも敵を潰滅させることである。そのため手段を採らなかつたのは当然だと思つてゐる。非難されることはない」「軍隊社会を防護することは、その首長である天皇を擁護することである」

▼「有朋は伊藤に対しまつた。（中略）多分に伊藤に対する劣等感の反撥でもあつた」

●松本清張『象徴の設計』（1972年文藝春秋・初出は1962～1963『文藝』の連載）

■井上清の山県有朋評－「別冊太陽－明治維新百年」より

▼「山県は文武官僚の独裁をますます固めようとした。（中略）政府にも関与させず、軍部のみで『帝国国防方針』を天皇の名で策定し、歴代の政府をも拘束する最高国策としたことなどである。帝国議会さえも敵視した山県が、社会主義の小さな萌芽にも驚くほど敏感に対応し、その根絶に苦心したのも当然である。治安警察法は第二次山県内閣が作り、「大逆事件」をでつ

ちあげた張本人も元老山県であつた」

●『別冊・太陽「日本の二百年』

■共同執筆陣の山県有朋評－『日本近現代史を読む』より

▼「山県有朋首相は、国家の独立を維持するためには、『主権線』だけでなく、『利益線』も確保しなければならないと主張しました。『主権線』とは日本の国境線、『利益線』も確保しなければならないと主張しました。『主権の後継者だとすれば、山県有朋のほうが武人ですから西郷の後継者ということになつたのですが、西郷ほど優れた人格を持つているわけじやないのでは、とんでもない軍国国家を作つてしまひました』。「彼が、大久保の設計図よりも先に、自分の思いを描いた軍事国家を作つてしまつたんです。これが近代日本の不幸の始まりなんですよ」

●半藤一利・出口治明『明治維新とは何だったのか』（1973年初版 平凡社）

▼「半藤一利の山県有朋評－『明治維新とは何だったのか』より

▼「半藤・伊藤が大久保の後継者だとすれば、山県有朋のほうが武人ですから西郷の後継者ということになつたのですが、西郷ほど優れた人格を持つているわけじやないのです。軍隊は防衛のために、朝鮮半島の防衛のために、朝鮮半島の軍事的な確保が必要だというのです。軍隊は防衛のためにだけでなく、他国・他地域を勢力圏に組み込むためにこそ必要だということになります」

▼「山県内閣は（中略）軍部大臣現役武官制を定め、大臣には現役将官をもつてあって、軍に政党の影響が及ぶのを排除しようとしました」

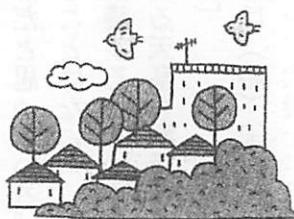
●『日本近現代史を読む』

●『日本近現代史を読む』（2018年祥伝社）

(2010年新日本出版社)

◇ ◇

たったこれだけの文書からも、山県の歴史的評価、安倍が山県の何を見ていたのか解る。軍事国家（戦争する国づくり）、軍備拡張と増税、国会軽視、国民支配、社会主義・社会運動敵視などである。山県は安倍の理想の先人だったと言えるのではないか。



## 【学習資料 ▲1▼】

### 歴史の教訓

#### 戦争はいつも「平和」のため始められた

これまでの戦争は、いつも「平和」を大義名分として仕掛けられた。

「戦争する国づくり」をめざす自民党は、やはり「平和」を「掲げ」ている。

#### 日露戦争＝支那事変（1904年）

宣戦の詔勅（1894年明治27年）

纂『臣民の道』（1941年・朝日新聞社版）より

「…朕平和と相終始して、以て帝国の光榮を中外に宣揚するに専らなりといえども、また公に戦を宣ぜられるを得ざるなり。…汝、有衆の忠実勇武に倚頼（いらい）し、速やかに平和を永遠に克復し、

#### 大東亜戦争＝アジア太平洋



戦争＝「米英への宣戦の詔勅」（1941年昭和16年）

「…禍根を芟除（せんじよ）して東亜永遠の平和を確立し…」

#### 自民党の憲法草案＝「自民党の『日本国憲法改正草案Q & A』」（2012年）

国防軍－「独立国家が、その独立と平和をたもち、国民の安全を保障するため」

#### 平和安全法制（戦争法）＝

集団的自衛権（2015年9月強行採決）

「我国及び国際社会の平和及び安全確保のため…」

「不屈」再録シリーズ⑯

県版「不屈」269号（2013年10月）より

## 安倍首相の特高・戦犯の危険な系譜（上）

最上 健造

安倍晋三首相がひた走る戦前政治への回帰路線は、国内やアジア諸国にとどまらず、

軍事同盟の盟主と仰ぐアメリカからも懸念や批判の声が強まっている。それらの報道に関する書籍や文献はたくさん出されており、会員のみなさんも読まれていると思う。

ここでは、今年の国賠同盟各支部の総会時の学習会で、

私が喋った内容の一部、安倍首相の反動的逆流の源流が特高・戦犯政治にあることを述べたい。

大日本帝国の国民「洗脳」の柱は、教育とマスメディアであった。安倍首相は教育とマスコミ支配に、特高と戦犯

の思想と政治を学び、熱き思いを持つて「暴走」し始めている。

わが同盟は「再び戦争と暗黒政治を許さない」という立場からこの反動的逆流を阻止する任務を持っている。

特高官僚の戦後教育敵視と安倍晋三

私が喋った内容の一部、安倍首相の反動的逆流の源流が特高・戦犯政治にあることを述べたい。

二〇〇六年に発足した第一次安倍内閣は、「創りあげたい日本、美しい国、日本」、「戦後レジームからの脱却」のスローガンを掲げ、最初に「教育基本法」を改悪した。

旧「教育基本法」は、「（憲法が謳う）この理想の実現は、

根本において教育の力にまつべきもの」として制定された。安倍晋三は、憲法の理想を実現するための教育基本法を敵視し改悪した。

憲法の外堀を埋めたのである。教育を憲法から切り離し、

「公共の精神」つまり国家の方針に従わせることを教育に求めたのである。

82年北海タイムス社）

また特高官僚で、戦後文部大臣や法務大臣をつとめた奥野誠亮は次のように述べている。

「（衆議院議員に当選し文教委員になつたのは）、占領する。町村は戦前教育を美化しが、特高官僚の町村金五である。町村は戦前教育を美化して次のように言つている。

「いまだに君が代や日の丸が、抵抗を感じる先生がありますて、國を愛する考え方と合わせて、國を愛する考え方と合わさるものと脅してかかります。

……革命家は現在と過去とを葬り去ろうとしますが……教育者は……過去の文化遺産をめに微力を尽くしたいと考えたからである。占領政治が粗つたものは、日本を再び強力な軍事国家としないため、教育を、正常な姿に取り戻すため将来に伝達していくことこそが、その責務であります。私たちは……国歌・君が代、国旗・日の丸と共に育ってきたれつきとした日本人であります

ことだった。このため、教育勅語を禁止し、教師に労働組合をつくらせ、教育制度を改革して、戦前の教育を形の上でも内容の上でも完全に抹殺してしまった」（町村金五伝刊行会『町村金五伝』1882年北海タイムス社）

す。身についた礼儀正しさ、親に孝養を尽くし、祖先に感謝する心、国を愛し、社会に尽くす伝統があります。自分、そして家庭を大切に、ひいては日本を愛する心を通じて世界を大切にする心を養いたいし、自分の国の国旗や国歌に敬意を払う心を通じて、他国の国旗や国歌にも敬意を払う心を育てていくことが、世界の国々から信頼される日本人を育てる基礎条件だと考えています」（奥野誠亮回顧録「派に頼らず、義を忘れず」2001年PHP研究所）

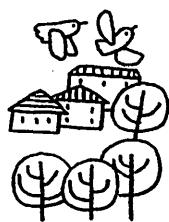
前教育への回帰を表明している。

安倍たちは、この特高官僚たちの夢、教育勅語復権の願望を追つたのである。自民党、元の文部大臣で憲法改正推進本部長の保利耕輔は「戦争中に受けた教育は悪かつたと思っていない」（2012・5・4「しんぶん赤旗」）と憲法改悪の要素の一つに戦

界を大切にする心を養いたいし、自分の国の国旗や国歌に敬意を払う心を通じて、他国の国旗や国歌にも敬意を払う心を育てていくことが、世界の国々から信頼される日本人を育てる基礎条件だと考えています」（奥野誠亮回顧録「派に頼らず、義を忘れず」2001年PHP研究所）

教育委員会の独立性を奪い文部省や自治体首長の思いのまま統制できる機構に変えようとしている。

最終的には、憲法を改悪し、戦争する國づくり、基本的人権の否定、結社の自由の制限、「拷問絶対禁止」の「絶対」を削除するなど、まさに暗黒政治の復活にひた走っている。



## 今月の注目の書籍

20 「言闇録」より

▼佐藤晃（北秋田市米内沢

の牧場経営者・ヒマワリ栽培）

▼新垣勉（沖縄生まれのテノール歌手）

「命が踏みにじられる今こそ、平和や命が重い」（「秋田さきがけ」2022・9／7「北斗星」より）

に巻き込まれていて心が痛む」。「今回大きな反響があつた。来年もヒマワリ畑を作らなければ」（「秋田さ

きがけ」2022・9／21

きがけ」2022・9／21

「北斗星」より）

▼グーテレス（国連事務総長）

「核兵器の廃絶は私たちが将来世代に遺すことができる最大の贈り物」。「核軍縮が

実現不可能な夢物語であるといふ主張をわれわれは拒絶す

る。これらの死の道具を廃絶

することとは実現可能であるだけなく、必要なことだ」

（「しんぶん赤旗」2022・9／25「国際デー」より）

▼コロシ（第77回国連総会議長）

「国際社会が絶えず警戒しなければ、世界で頻繁に戦争が起きる事態になる」（「し

んぶん赤旗」2022・9／25「国際デー」より）

2022年9月19日

秋田県知事 佐竹 敬久様  
秋田県教育長 安田 浩幸様

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟  
秋田県本部会長 最上健造

### 安倍元首相の国葬に反対し、県民・各機関に対し、弔意の「強制」を求めないことを要請します

安倍元首相の「国葬」に対し、国民多数が反対していますが、岸田内閣はあくまで強行しようとしています。「国葬」は憲法違反であり、その費用が全額国民の税金が使われることは納得できるものではありません。

同時に、国民に弔意を強制することは憲法に保障された思想信条の自由、内心の自由に反することになります。

私たち治安維持法賠償同盟は、「再び戦争と暗黒政治を許さない」日本を目指し、憲法の完全実施を求めて活動してきました。しかし安倍元首相は、憲法改悪・戦前回帰を目指し、立憲主義がないがしろにしてきました。さらに反社会的カルト集団との密接な関係の中心的役割を果たしていました。こうした政治家を國を挙げて賛美することは、二重三重の憲法違反となります。よって私たちは、「国葬」に反対し、今からでも中止することを政府に要請しました。

にも拘わらず「国葬」が強行された場合、県として各行政機関や教育機間に半旗掲揚や默祷を指示しないよう要請いたします。

以上

《連絡先》

〒014-1413 秋田県大仙市角間川町字東中上町27 最上方  
治安維持法賠償同盟秋田県本部

2022年9月19日

内閣総理大臣 岸田 文雄様

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟  
秋田県本部会長 最上健造

### 安倍元首相の国葬に反対し中止を求めます

安倍元首相の「国葬」に対し、国民多数が反対していますが、貴内閣はあくまで強行しようとしています。「国葬」が憲法違反であることは明確になっています。それに「国葬」の費用が全額国民の税金が使われることは納得できるものではありません。

私たち治安維持法賠償同盟は、「再び戦争と暗黒政治を許さない」日本を目指し、憲法の完全実施を求めて活動してきました。しかし安倍元首相は、憲法改悪・戦前回帰を目指し、立憲主義がないがしろにしてきました。さらに反社会的カルト集団との密接な関係の中心的役割を果たしていました。こうした政治家を國を挙げて賛美することは、二重三重の憲法違反となります。

よって私たちは、「国葬」に反対し、今からでも中止することを要請いたします。

以上

《連絡先》

〒014-1413 秋田県大仙市角間川町字東中上町27 最上方  
治安維持法賠償同盟秋田県本部

2022年春季号(43号)

## 『治安維持法と現代』

好評発売中



**【主な内容】** <巻頭論文> 「日本学術会議会員任命拒否から1年半=広渡清吾、「國體について」=前川喜平、<情勢学習>「維新」自公政権の悪政の中、総選挙躍進の謎=西谷文和、帰路に立つ「連合」一新会長の野党共闘批判=青山悠、「歴史戦」とは何かーそのねらいと歪曲された歴史認識=山田敬男、改憲策動に立ち向かう構え=内藤功、岸田内閣の危険な防衛政策、軍拡予算=千坂純、大自然と県民の闘いが阻む新基地建設=早坂義郎、「文化・芸術」繩文時代研究ー考古学と唯物史観=勅使河原彰、日本最古の鉄道遺跡=山沢猛、さようなら小三治さん、寂聴さん=澤田勝雄、「治安維持法下の闘い・同盟活動」治安維持法で弾圧された宗教者たち=後藤太刀味、映画評「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」=石子順。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌 定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

権力に抗して声をあげた  
乙女がいたー待望の映画化

**大仙市上映**

2022年10月21日(金)  
①14:00~ ②18:00~  
上映時間 125分

**大仙市民会館 小ホール**  
(0187-63-8766)

一般(18歳以上) 1,000円  
(当日 13,000円)

・主催／映画「わが青春つきるとも」  
上映実行委員会



**川原 浩 さん (92歳)**  
県直属(特別会員)  
医師・川原医院院長  
秋田市在住  
6月20日逝去

おくやみ

ご冥福をお祈りします

## NHK朝ドラ「ちむどんどん」と沖縄

### —あなたはどう見ましたか—

▼「ちむどんどん」が9月で終わった。

このドラマは、沖縄の「本土復帰」50年を記念して製作されたと云われる。

だが前半には「その辺のこと」は出てこなかつた。また主人公（暢子）や家族や友人たちの恋愛関係などが不評だったのか、好感度は「いまいち」で視聴率は低かつた。

また人間関係の温かさは、丁寧に表されていたが、料理人としての修行や成長の印象が薄く、主人公への同情、共感や応援の気持ちが視聴者に広がらなかつたのかもしれない。

最終盤になつて、さらに周囲の人間模様の展開が主となつて、主人公の影がやや薄くなつ

た感じがした。

▼ドラマの折り返し点の7月後半になつて「やつと」

(!) 沖縄戦の「歴史と人間関係」が出てきた。主人公の母親が、家族には内緒で洞窟（ガマ）で戦争犠牲者の遺骨収集に参加していたのだ。戦争の傷跡と再び戦争は嫌だの思いが伝わつて來た。またレストランの女性オーナーと、

沖縄県人会の会長が結ばれなかつたのも戦争のためだつたが、兩人ともそれは立派に乗り越えている。

さらに終戦直後の食糧事情や闇市も描かれ、助け合う人々の情けもあつた。

最終盤に悲しい戦争被害がだから決して、戦争と沖縄

の関連をおろそかにした訳ではないと思う。

もう一つ社会性のある事を言えば、食糧の自給自足、伝統野菜、地産地消、郷土料理なども考えさせられた。美味しくて喜ばれる食材は、自分たちの身近にあると。

▼「しんぶん赤旗」では77歳の男性が、「『鉄の暴風』（米軍の）艦砲射撃」の場面も入れたらよかつたのに」と感想を寄せていた。ラジオでも沖縄の現状をもう少し出してほしかつた、というコメントもあつた。

一方、全国商工新聞「メディアの深層」ではこのドラマに対するバッシングを批判し、「全然つまらなくない。どうろか逆に、ものすごく面白いのだ。」と擁護している。経営の大変さに共感しているのは多すぎる」と警告している。

最終回4日前になつて、戦争の悲劇が語られた。主人公の母親の姉の死である。また弟の死である。母の遺骨発掘は姉や弟の遺骨探しだった。この場面はもう少し早く出すべきではなかつたか。

最終週、駆け込み的に、結局みんなが「幸せ」で安堵するが、あのバタバタは何とかならなかつたのか。  
▼さて、みなさんは、どう思いましたか。（も）

背景を「ウツブン晴しのために他人を傷つけまくるのが嬉

しい手合いが、いまこの国に

▼撮影を終えた主人公の俳優さんは、「4兄弟がそれぞれの道で人生の幸せを見つけていきますので、そこに注目すべきです。そういうドラマだけたとすれば納得がいく。

最終回4日前になつて、戦争の悲劇が語られた。主人公の母親の姉の死である。また弟の死である。母の遺骨発掘は姉や弟の遺骨探しだった。この場面はもう少し早く出すべきではなかつたか。